

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。6月末は上場企業等の株主総会ラッシュです。昨今は株主による悪ふざけ(!?)の提案、いわゆる「株主ハラスメント」が問題となっています。

株主総会で「(体の運動のため)オフィス内の便器はすべて和式とする」、「(資源節約のため)トイレットペーパーの代用品として古い新聞紙を使用」等々、会社の発展に役立つかどうかは意味不明な提案がなされた事例が沢山あります。まさに昨今の SNS での悪ふざけと同様な状況です。

さて、私は勉強の一環として毎年、道内のある銀行の株主総会に参加しています。やはりここでも「とんでも(!?)質問」が出ます。



の便器はすべて和式とする」、「(資源節約のため)トイレットペーパーの代用品として古い新聞紙を使用」等々、会社の発展に役立つかどうかは意味不明な提案がなされた事例が

たとえば「役員全員のネクタイの色をコーポレートカラーの青にすべき」や総会前に「役員たちが笑って話をしていた」ただ談笑しただけでも、「公の場でいつも人に見られていると思って緊張感を持って」等々の「個人の感想レベル？」の質問が出ます・・。

ふと思った(私個人の感想です)のは、ホテルで開かれる総会は、ある程度厳格な行事であると多くの人は理解しています。従ってその場にふさわしい服装で来ています。しかし、そういった個性的な質問をする人は男女問わずトレーナーやジーパン等のいかにも買い物をついでのような普段着でした・・。

年に一度開催される株主総会に対するマナーとして①状況にあった前向きな意見・発言、②場に合った服装・身だしなみが大切という事をしっかりと学ぶ機会となりました。

「合理的」か「情緒的」か・・

株主がその会社の株を持つ理由は単純です。株価が上がり(資産が増え)、配当金(現金)が貰える。これを株主に提供できない経営者は株主総会で非難されるのは当然です。

そこで多くの経営者は「合理的」な判断として、将来性が見込まれる新たな事業を模索、併せて旧式化した仕組みを改革、AI や DX を活用し無駄を排除し利益を確保する施策を実施します。

さて、冒頭の銀行の総会の続きです。ある株主が「以前は徒歩1分のところに店舗があった」、「店舗が閉鎖されたのでしかたなく今は20分ほど歩いてATMで記帳している」、「これからATMを増やすなら通帳に記帳の出来

るATMにして欲しい。通帳を見ないと安心できない」。

一方、頭取(代表者)は「今はコンビニやインターネット・スマホ等で簡単に取引出来、銀行に行かなくても便利な仕組みを整備していますので安心してご利用ください」と説明します。

アナログ世代が進歩するデジタル社会についていくのが大変なのでしょうか・・その株主は「もし、銀行に行く途中の真冬に転んで怪我をしたら銀行のせいですよ・・」と捨て台詞で退場です。このように銀行は多くの一般市民の「情緒的」な感情を相手に商売しているので大変です。



ちなみに ATM 一台の維持費はだいたい年間 2,000 万円で、銀行に設置されている ATM の台数が最近減っているのはコスト削減(株主への還元)のためで、コンビニ等に設置している印字機能がない ATM はコストが安いので今後は増えると関係者からお聞きした事があります。

わらしべ長者

突然ですが・・・私はまさに商売の基本だと思っていますので「わらしべ長者」の話にお付き合い下さい。

貧しい若者が夢で「外に出て最初に手にしたものを大切にしまさい」と観音様に言われます。

若者が歩いていると①「1本のわら」を拾います。②「わらにアブをくりつけ」て遊んでいると子どもが欲しがり③「みかん」と交換します。そのみかんを喉が渇いていた身なりの整った娘が欲しがり④「高価な反物(布)」と交換します。高価な反物を手に入れ上機嫌に歩いていると死にかけての馬の飼主に騙され「馬」と交換します。⑤親身に馬を世話した結果、馬は元気となります。城下町に行くと長者がその馬が欲しいと言い⑥「大金」を提示します。あまりの大金に驚いて失



神、以前にみかんを交換した⑦「娘」が若者を介抱してくれます。その娘は長者のお嬢さんで長者が嫁に貰ってと言い⑧「大きな屋敷」を手に入れ長者となりました。

ここまで極端でなくても、多くの経営者は「外に出て手元にある資産(ひと、もの、かね)を大切にし」行動した結果、偶然の積み重ねのような幸運が舞い込んで来た経験をしていると思います。

教訓

先ほどの株主総会の話に戻ります。ATM に関する提案をした株主さんは何事にもネガティブに考え「逆、わらしべ長者」の発想で自分の姿を思い浮かべたのでしょね・・・。



どのような顧客を相手にして商いをしているかは企業によって異なります。やはり全ての市民が顧客の場合、大変な事も多いでしょう。ある歯医者さんはお客様をお断り(法律上)出来ないので、ストレスから 60 歳ぐらいで閉院しました。

精神衛生上理想を言わせてもらえば、ある程度は顧客の見極めも必要なのかも知れませんね・・・。

恥の文化

他人の目や世間体を強く意識し、「恥をかかないこと」が行動の主な基準となる文化を指し、ルース・ベネディクトが『菊と刀』で日本文化を欧米の「罪の文化」と対比して用いた概念です。

編集後記：

野村ホールディングスの定時株主総会(2012年)で一人の個人株主が従来の常識を超える約 100 項目の提案を行ったことが政府や経済界が問題視され、2019年「会社法が改正」されました。以後、1人の株主が提案できるのは最大で 10 件までです。ある(悪い)意味一人の人間が国の法律を変えさせたのです。ちなみに、西洋の「罪の文化」は宗教観に基づき「心の中の罪悪感や行動をすべて神が見ている」とし自分を律する文化です。現代において技術の進歩で SNS 等の自己顕示欲を発揮する手段が増え、長年積み上げられた「文化」でさえ疎かになる時代となりました・・・(寿)。